



写真家の田中ハル(右)と筆者

怒っていい。気づいて、逃げよう!被虐児とその親、行政職員、「児童虐待」の暴力に晒されているすべての人におくる証言集

なかに 虐待被害者という勿れ

虐待サバイバーという生き方

ドクターファンタスティポ★嶋守さやか／写真:田中ハル

◆ジャンル:社会福祉/児童虐待

本書は、虐待サバイバーの語りからできている。その語りは、二〇一九年に「虐待サバイバー写真展(kojikojithemedia)」を催した田中ハルという写真家のモデルとなった人たちによるものである。田中はADHD(注意欠如・多動性障害)、統合失調症、心臓疾患、部分てんかんなどを抱えている。そして、幼少期より母親から虐待を受けて育った。それが虐待というものだとは知ったときからこの問題に興味をもち、「虐待サバイバー写真展」を企画した。

「虐待を受けて育ったけれど、今、生きている。その証としての写真を撮らせてください」と呼びかけた田中の声に応え、モデルになった人たちは、凄惨な過去を背負いながらも、写真の中で柔らかくほほえんでいる。虐待の後遺症に苦しみがらも、今を生きている。

本書の語り手たちは、三〇代から五〇代の女性四名と男性一名である。撮影した一人ひとりに田中自身が声をかけて、「虐待された過去と今を語れる」と返事をくれた人たちだ。私の取材を受けてくれたのは、田中への恩返しだ。この言葉を聞いたとき、虐待サバイバーたちは、子どもや女性への暴力防止に取り組み森田ゆりの言う、「トラウマと共に生きてきた過去を慈しみ、現在、未来もトラウマ

とつきあいながら生きていくという新しいサバイバーの視点」をもっている人たちだと実感した。胸がざわついた。心が動いたから、私ははいねいに彼女たちの声を文章にした。

児童虐待は深刻な社会問題である。しかし、その早期発見は困難を極める。虐待を受けている子どもたち(被虐児)は、自らの置かれた状況について沈黙を守ることが多い。それは、家庭内暴力や児童虐待がいまだに社会的に、そして被虐児本人にとってもタブー視されているためである。被害経験を語ることは、容易ではない。親や周囲からネグレクトや身体的・心理的虐待を受けてきたサバイバーたちの語る内容は時に凄絶だが、本書はフィクションではない。児童虐待の現実を描写する本書が、今、児童虐待の現実とともにある人たちに、被虐児たちの声を代弁するものとして届くことを切望している。(しまもり・さやか)

ISBN978-4-7948-1248-3 6月下旬刊
 四六並製 一三六頁 予二二〇〇円

孤独死の看取り

三三〇〇円

寿ぐひと

二六四〇円

嶋守さやか
 好評刊

私、子宮がんやめました

(原発・住民運動・死の語り)

一九八〇円

著者 1971年川崎市生まれ。桜花学園大学大学院教授。社会学博士。専攻・福祉社会学。著書として、「孤独死の看取り」、「寿ぐひと 原発・住民運動・死の語り」、「私、子宮がんやめました」(ともに新評論)などがある。



パソコン、ワープロソフト、ネットにスマホにAIとツールは増えたが、「ものを書くこと」の本質はむしろ見失われているかもしれない

その文章、大丈夫？ 単なる書き方指南を超えて、物事の見方や心構えから問い直す悪文回避法。書き出す前にぜひ一読あれ！

執筆開始、その前に

「悪文」を避けるための考え方

大倉幸宏

◆ジャンル:文章作法/思考法

文章の書き方に関する本は世にあふれています。書店に足を運べば、一目瞭然でしょう。該当の棚を眺めると、目的やレベルに応じたさまざまな本が刊行されていることが分かります。もちろん、中身は玉石混交ですが、それらに書かれた技術を的確に身に付ければ、下手で分かっていく文章、すなわち「悪文」を避けることができるようになるかもしれません。

一方、日々ニュースに接していると、文章にまつわる不祥事が相次いでいることが分かります。論文の捏造、記事の盗用、捜査書類の改ざん、コピペの氾濫、SNSへの書き込みの炎上……。こうした出来事が大きな問題として報じられることも珍しくありません。これらは社会に害をもたらすという文脈で「悪文」と呼んでもいいでしょう。そうした広い意味での「悪文」は、文章の上手、下手とは関係ありません。むしろ、うまい文章を書ける人ほど、その当事者になる可能性が高いといえます。先に挙げたような本で作文技術を身に付けても、「悪文」を書くようでは本末転倒です。

右記のような「悪文」を避けるための考え方を体系的にまとめたのが本書です。心理学、認知科学など幅広い分野の知見

を援用しながら、書く目的を見定めること、書くための材料を見極めること、読み手を見据えることの3点を柱に、執筆前に頭に入れておきたい心構えや思考法を提示しています。

本書は基本的に、書くことに自信のない人を念頭に作成しています。ただ、本書を読んだからといって、うまい文章が書けるようになるわけではありません。それでも、本書を通じて、書く場面に限らず、物事の見方、考え方をブラッシュアップするヒントを数多く手にすることができるといえます。その意味では、書くことに自信のある人も、多くの気づきを得られるかもしれません。すでにさんざん書いてきた、という人にも是非手に取っていただきたいと思います。

(おおくら・ゆきひろ)

ISBN978-4-7918-1219-0 10月刊
四六並製 予三四四頁 予二六四〇円

100年前から見た21世紀の日本

(大正人からのメッセージ) 三三〇〇円

「昔はよかった」と言うけれど

(戦前のマナー・モラルから考える) 三三〇〇円

大倉幸宏 大倉好

「衣食足りて礼節を知る」は誤りか

(戦後のマナー・モラルから考える) 三三〇〇円

著者 1972年、愛知県生まれ。新聞社、広告制作会社等を経て、現在はフリーランスのライター。著書に「100年前から見た21世紀の日本—大正人からのメッセージ」、**「昔はよかった」と言うけれど—戦前のマナー・モラルから考える**など。

「使用人」「女中」は過去の遺物なのか?否。当事者の声に基づき
 労使双方の複雑な心理と「静かな暴力」を剔出する社会学の冒険



驚くべき富豪の生活と思考回路、そして使用人職のはらむ多様な矛盾を描いた本書は内外で話題を呼んでいる(写真は原書表紙)

富豪に仕える

華やかな消費世界を支える陰の労働者たち

アリゼ・デルピエール / ダコスタ吉村花子 訳

◆ジャンル:社会学/社会心理学/雇用・労働問題

世界各国の例にもれず、大富豪と呼ばれる層はフランスにもいる。彼らはパリ首都圏と地方(たいていは南仏)の豪邸や城に住み、使用人に仕えられながら暮らしている。一口に大富豪と言っても、代々の貴族やブルジョワなどと、一代で富を築いた新興富裕層では価値観も生活形態も違うが、いずれもいわゆる華やかな世界で暮らしている。彼らが光なら、使用人は影だ。本書はそうした影の存在に光を当て、彼らの労働環境、来歴、心の内を探り、人が人に仕えることの意味を問うている。

大富豪同様、使用人も千差万別でパターナリズムは難しいが、移民や移民家庭出身者、女性が大半を占めるといふ顕著な傾向がある。高給取りで雇用主から様々な現物支給を受ける者もいれば、徹底的に「搾取」される者もいる。料理やベビシッター(富豪はあえて英語で「ナニー」と呼ぶ)を専門とする使用人もいれば、家事全般を担うマルチタスクの者もいる。多くの使用人は、より実入りのよい仕事とステップアップを求め、自分の生活や健康を犠牲にすることさえいとわず、自分よりずっと格上(と彼らが考える)の

人々の私生活を共有し、彼らから評価され、さらにそれに見合うだけの金銭的・物質的報酬を得ることで満足感を得、時には雇用主に自分を投影することさえある。

現代ではかつてのような露骨な従属関係は減ったものの、「ゴールドデン搾取」(使用人の献身を高値で買うこと)あるいは「静かな暴力」という形で支配は続いている。豊富なフィールドワークとインタビューを経て書かれた本書では、使用人職の内包するアンビヴァレンスが随所で明らかにされ、その分析を通じて著者は、人が人に仕える状況において、真の対等かつ自由な関係はありうるかと問う。昨今、労働を取り巻く環境はデジタル革命やコロナ禍で大きな変化を遂げつつあり、さらに日本では高齢化や人手不足が深刻化している。大富豪の使用人という特殊な切り口とは言え、今後の雇用関係や労働、また再生産労働(シャドウ・ワーク)の問題を改めて考える上で、本書は様々な示唆を与えてくれるだろう。

(ダ「スタ・よしむら・はな」 翻訳家)

ISBN978-4-7918-1250-6 10月刊

四六並製 予二七二頁 予二七五〇円

著者 Alizée DELPIÈRE 組織社会学センター(CSO、在パリ)博士課程修了。政治科学、社会学博士。パリ政治学院所属。労働、雇用を専門とし、特に大富豪の使用人を中心に研究を展開。ジェンダー、人種、社会階級、支配と搾取の問題をカバーする。

レジリエンスを育てよう

山本利枝・十渡辺梨沙・十松本有貴十
M・E・バーナード「子どもの問題を予防・軽減する YOUNG CAN DO IT!」 子ども自らが辛さ乗り越え回復する力を育てよう。
四六並製 二二五六頁 二四二〇円

さらば寂しすぎる教育

工藤定次・工藤姫子

〔福生市・タメ塾の記録〕 「落ちこぼれ」や「引きこもり」を励まし、支え続けた伝説の学習塾がいま甦る！
四六並製 二二九六頁 二四二〇円

ざんねんな読書指導

有馬心一朗

「スマホから「子どもの人生」を守った物語」 数々の実話から読書の真の価値と適切な指導法を探る。
四六並製 二二〇〇頁 二二〇〇円

さらば学力神話

磯村元信

〔ほうず校長のシン教育改革〕 NHK「クロ現」等で紹介され話題、課題集。中学校の元名物校長が語る「真の学び」。
四六並製 二二八〇頁 二二〇〇円

SELを成功に導くための5つの要素

L・ウィーヴァー・M・ワイルディング
高見佐知・内藤翠・吉田新一郎訳〔先生と生徒のためのアクティビティ集〕 SELと教科学習を統合する最新アプローチ。
四六並製 四一六頁 三三〇〇円

みんな羽ばたいて

C・A・トムリンソン／飯村卓史・武内流加・竜田 徹・谷田美尾・吉田新一郎訳

〔生徒中心の学びのエッセンス〕 「一人ひとりをいかに教えるか」の達人が説く「生徒中心の学び・教室」のつくり方。
四六並製 三四八頁 二七五〇円

ちせんげん 知泉源氏 4

杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕 (だいぶ昔の) 天皇推薦図書!? 初めての完全漫画化作品、面白くなる一方です！
A5並製 三三八頁 一四八五円

ちせんげん 知泉源氏 3

杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕 年齢性別を問わず、誰にでも面白く読める初めての完全漫画訳、波乱の第3弾！
A5並製 三四四頁 一四八五円

やっつてよかった

育児見パパ

谷沢英夫

〔日本人のババがスウェーデンでたどり着いた男女平等教育〕50年にわたる在住経験で体感した北欧ジエンター先進社会。四六並製 一九二頁 一九八〇円



スウェンスカ・ヘムの女性たち

太田美幸

〔スウェーデン「専業主婦の時代」の始まりと終わり〕生活・政治・ジエンター平等を結びつけた女性たちの挑戦。四六並製 二二四頁 二四二〇円



長寿ファミリー企業のアントレプレナーシップと地域社会

辻田素子編者

〔時代を超える京都ブランド〕ファミリー経営の強みを発揮し、時代に即した試みで長らえる京都の老舗。A5上製 三五二頁 三〇八〇円



田んぼの中のコーヒー豆屋

榎田紗世

〔東川町で起きた八年間の奇跡〕人口増加数道内1位の町で現在形で日々起きている奇跡の物語とは。四六並製 三二二頁 一九八〇円



ガイアに向き合う

ブルーノ・ラトゥール／川村久美子訳

〔新気候体制を生きるための八つのレクチャー〕生命が居住する地上の薄膜II「ガイア」に向き合う重要性。A5上製 四九六頁 五九四〇円



リベラリズム

ポール・ケリー／佐藤正志・山岡龍一・岡崎理貴・石川涼子・田中哲人・森達也訳

〔リベラルな平等主義を擁護して〕世界人口の7割が独裁国・地域に住む現在、自由主義の意味を問い直す。四六並製 二六四頁 二九七〇円



ワイルド・アイデア

E・ケルシー(文)／S・キム(絵)／光橋翠訳

〔自然のなかにひらめきをみつけよう〕感性豊かな文章と美しいシオラマで描くエコロジー絵本・第二弾！B5変上製 三六頁 一七六〇円



ぼくはぼく

S・ヴェルデ(文)／P・レイノルズ(絵)／島津やよい訳

〔ありのままの自分』を全面肯定し、愛するために。他人との比較や自己否定に病む現代人の心を温かく励ます「個性讃歌」。A4変上製 三三頁 一三三〇円



スター・サククシユタイン／中井悠加・山本佐江・吉田新一郎 訳
『成績だけが評価じゃない』——感情と社会性を育む(SEL)のための評価』

尊厳守り主体的学習者を育む

■評者 新藤久典(文部科学省学校業務改善アドバイザー) 「日本教育新聞」2023年7月3日

著者は、長年の中・高校での教師生活や研究活動を通じて、全ての子どもが意味のある学習をするための最適な条件は、

「感情と社会性の学習(SEL)」を教科内容に取り込むとともに、最適な評価を行うことが重要であると述べている。

本書の構成は、

第1章「信頼できるだけの人間関係を築いて学びをサポートする」

第2章「評価のなかで自己認識を育てる」

第3章「より良く学ぶために自己管理を促進する」

第4章「責任ある意思決定を教えて、学びに対する生徒のオーナーシップ(当事者意識)を高め

る」

第5章「成績に対する感情的な反応を理解し、改善する」

第6章「個別評価で生徒の尊厳を高める」

——となっている。各章のタイトルから、著者がどのような教育を目指しているかがよく理解できる。

評者が特に注目するのは、第1章で紹介している、米国の小・中・高校の教師たちが新学年が始まる前に、担任する予定の子どもと保護者に送った手紙である。著者は、その目的とし

て適切で信頼できる関係を築くためであると説明している。

評者は、現在の日本において、校内研究の中心の一つであった、学級経営・学年経営をはじめとする生徒指導に関する研究や研修が影を潜め、子どもとの信頼関係を適切に築けない教師が増えていくことを危惧している。その意味でも、多くの教師には本書をぜひ一読されんことを願う。

成績だけが評価じゃない

Sサククシユタイン／中井悠加・山本佐江・吉田新一郎 訳

「感情と社会性を育む(SEL)ための評価」 子どもの尊厳を守る米
 国発・最新の総合的評価法を紹介。
 四六並製 一五六頁 二六四〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1229-2



子どもをまるごと理解し、次の学びにつなげるために、「評価」のあり方を再考すべき時が来ている(写真:本書の原書表紙より)

本を売る

絵本屋は面白い

東京・神田神保町という、世界的な「本の街」にある新刊のこともの本専門店として18年ほど活動しています。60坪の店内に、約1万冊の絵本・児童書が並ぶ本棚、二つのギャラリ、そして7年前から加わった飲食（カフェ50席とバー）があり、毎日のようににかしらのイベントを開催して、絵本の魅力を発信しています。

お店の特徴は大きく3つ。

①授乳・おむつ替えスペースがあり、ベビーカーや車いすでお店の隅々まで動けるバリアフリー設計で、赤ちゃん始めすべての人が絵本を選びやすい絵本屋。

②いつ来店されても、何かしらイベントや展示と出会える、劇場のような場所。

③バーのある絵本屋さん。

①は、年齢・性別・国籍・人種・言語・宗教、身体的特徴や特性などを問わず、様々な方にご来店いただけるよう、設備と心、両方のバリアフリーを目指し、多様性と寛容を店内で実現すべく活動しています。②は、二つのギャラリで展示を、また絵本作家のイベン

トなども日々行い、いついらしらしても変化があつて楽しい工夫をしています。見知らぬ同士のお客さまがいつの間にか仲良くなっているのを見かけ、「人が本と出会う場所」であると同時に「人が人と出会う場所」にもなっています。

さてそこで、③の「バー」。これは非常にユニークな当店の個性です。絵本カフェは世界中に数あれど、絵本屋にバーがくっついている形態は、珍しい（と思います）。最初は賛否あつたものの6年経つてみれば、バーの存在はお店のコンセプトにびつたり。選書に信頼のおける絵本屋でありつつ、同時に男女・国籍など問わず様々な方々で賑わうお店を目指すには、カフェやバーが果たす役割は小さくありません。書店・カフェは18時で一旦閉店し、平日の20時から店内全体の照明を落とし、ガラッと雰囲気変えてバーに変身するのは手前味噌ながら面白いもの。

「絵本をすべての人と楽しむ」と、また、「すべての人とはどんな人か」を常に考えながら、今日もどんなお客さまがいらっしやるのか、楽しみな毎日なのです。

ブックハウスカフェ店長

茅野由紀

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(4・9~5・20)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- 3月号 ◎教職研修「改訂版 読書家の時間」
◎いっしょに読もう！（佐賀県有田町東図書館）「すてきなテーブル」
- 4・9 ◎北海道新聞「田んぼの中のコーヒー豆屋」（中館寛隆）
- 4・10 ◎日本記者クラブ会報「クライメット・ジャーニー」
- 4・30 ◎家族社会学研究「東アジアの高齢者ケア」（税所真也）
- 4月号 ◎教職研修「感情と社会性を育む学び（SEL）」
- 4月 ◎アジア・アフリカ研究「開発との遭遇」（重田康博）
- 5・7 ◎下野新聞「スヴェンスカ・ヘムの女性たち」

- 5・11 ◎朝日新聞（夕刊）「クライメット・ジャーニー」
- 5・14 ◎徳島新聞「スヴェンスカ・ヘムの女性たち」
- 5・15 ◎日本教育新聞「等話」
- 5・20 ◎朝日新聞（岩手版）「クライメット・ジャーニー」



クライメット・ジャーニー
蒲敏哉

（気候変動問題を巡る旅）数々のグローバルな「現場」へ読者を誘い、気候・環境問題を等身大の視線で見つめる旅。

四六並製 二三四頁 一九八〇円

本を読む

スウェンスカ・ヘムの女性たち

スウェーデンでは、経済成長による人手不足で女性の労働力が求められ、税制改革（課税対象が世帯ではなく個人に）など諸々の制度の後押しもあって、専業主婦の時代は終わった。かたやわが国は少子化、人手不足、低成長の悪循環、それで女性に安い労働力だけを求めてもね……。(米子市 医療関係 田辺路晴 57歳)

スウェーデンの

小学校社会科の教科書を読む

前にスウェーデンの中学教科書「あなた自身の社会」を読んでいた。この国の教育の質については多少なりと知っていましたが、本書で小学校段階ですでに社会の一員としての自覚を促す教育がなされていることを知り、さらに学びが深まりました。

(船橋市 草野弘治)

学びは、すべてSEL

今までも行われてきた教育内容を、「感情と社会性を育む学び（SEL）」という観点で見直すことでもって子どもたちの成長を支援できる仕組みがわかった。一過性ではなく、年間を通してSELの観点を維持することの大切さを感じた。(西宮市 教員 加藤暢人 26歳)

好評刊

スウェーデンの

小学校社会科の教科書を読む

(日本の大学生は何を感じたのか)
鈴木賢志・明治大学国際日本学部鈴木セミ 編訳
一九八〇年

学びは、すべてSEL

(教科指導のなかで育む感情と社会性)
N・フレイ+D・フレイシャー+D・スミス
山田洋平・吉田新一郎 訳
二七五〇円

「NHKから国民を守る党」

とは何だったのか?
選挙ウオッチャーちだい
一六五〇円

編集部から

「金持ちは愚か」という認識が定着しつつある。映画「バラサイト」や「逆転のトライアングル」への反響はその一端を示す。だが真に必要なのは立場の逆転ではなく、支配・隷従関係そのものの清算だ。新刊「富豪に仕える」は、現代の使用人職という、この歪んだ関係の結晶体を丹念な調査で剖開する。人材派遣、パワハラ、難民・入管、技能実習生制度、ケアに代表される「影法師の仕事」など、われわれが直面する火急の課題についても思考を刺激してくれる。社会学の新たな名著誕生▼かのアイドル事務所創業者の所業は、性加害であるだけでなく搾取でありパワハラであり、なにより児童虐待だ。「被害者」の言葉と付き合いを通じて、かれらかの女らの生の現実を伝える「虐待被害者という勿れ」もぜひご一読ください(ジャーニーズ問題は扱っていません)。

営業部から

▼直近3ヶ月(2023年4月~6月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。

- ①「NHKから国民を守る党」
とは何だったのか?
- ②感情と社会性を育む学び(SEL)
- ③増補版 現代社会用語集
- ④たった一つを変えるだけ
- ⑤プロジェクト学習とは
- ⑥ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ⑦最高の授業
- ⑧学びの中心はやっぱり生徒だ!
- ⑨さらば学力神話
- ⑩スウェーデンの
小学校社会科の教科書を読む
- ⑪だれもが「科学者」になれる!
- ⑫地球に降り立つ
- ⑬学びは、すべてSEL
- ⑭あなた自身の社会
- ⑮虚構の「近代」

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に(ご送付しております)。
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。